

# 血液内科

令和7年4月1日付で

**特命院長** として着任いたしました。

ひの まさゆき

**日野 雅之** と申します。

着任医師の  
ご紹介



大阪公立大学では血液の病気全般の診断・治療から造血幹細胞移植や細胞治療などの最先端の医療まで担っておりました。医学の進歩により、多くの血液の病気の治療を患者さんの状況に合わせてできるようになりました。当院で可能な診断・治療はもちろんのこと、必要な場合は大阪公立大学と連携して、さまざまな治療の選択肢の中からそれぞれの患者さんに最も適した医療を迅速に提供させていただきます。

## 1. 貧血を甘く見ていませんか？

最も多いのは鉄分が足りずに起こる貧血ですが、中には白血病やがんのために貧血になっている場合もあります。鉄のお薬やサプリメントを飲んでも貧血が続く場合は、一度血液内科で検査をされてはいかがでしょうか。



## 2. 血が多い

睡眠時無呼吸や喫煙、ストレスで血が多くなりますが、血液の病気の場合もあります。あまり多い場合は血管が詰まることもありますので、一度血液内科で検査をされてはいかがでしょうか。

## 3. 熱が下がらない

熱の原因のほとんどは感染症ですが、なかなか熱が下がらない場合は、白血病や悪性リンパ腫が隠れている場合もあります。ご心配な場合は血液内科を受診されることをお勧めします。



## 4. リンパ節が腫れている

首や腋の下、足の付け根などのリンパ節が腫れている場合、多くの場合は感染症でしばらくすると小さくなりますが、何週間経ってもなかなか小さくならない場合や、どんどん大きくなっていくような場合は、悪性リンパ腫の可能性があるので、血液内科(場合によっては外科で生検が必要になります)の受診をお勧めします。



## 5. 青あざや血豆ができる

血を止める働きをする血小板や凝固因子が少なくなると、青あざや鼻血、口の中に血豆ができたりします。放っておくと突然脳出血することもありますので、早めに血液内科での検査をお願いします。



その他の症状でも血液の病気のことがありますので、お困りの場合は、お気軽に血液内科を受診してください。